

Global and Innovation Gateway for All

GIGA 通信

-児童生徒 1 人 1 台端末の日常的な活用に向けて-



発行元

佐野市教育センター

佐野市上羽田町 1134 番地 1

電話 20-3108

20-3048(相談専用)

立春も過ぎ、春めいた日差しを感じるようになりました。新型コロナウイルスの状況は、ピークを越えたもののまん延防止等重点措置が延長となるなど先の見えない状態が続いています。各校においては、まだまだ気の抜けない日々が続きます。

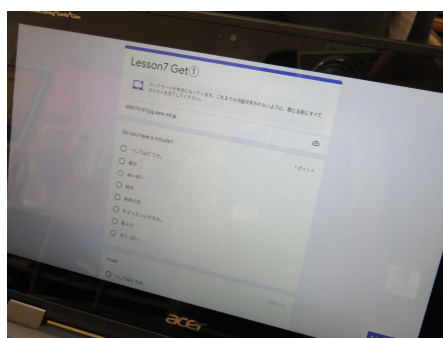
さて、今回の GIGA 通信では、学習指導調査研究委員でもある城東中学校の先生の授業を紹介します。

校長先生のご好意のもと、2 年生英語の授業を参観しました。「令和の日本型教育」が中教審答申でも示されましたが、「令和の日本型英語教育(?)」とも感じ取れる今までにはない英語科の授業でした。当然ながら生徒の「学び」も感じる事ができる素晴らしい授業で、英語科に限らず、参考にして欲しいと思う事がたくさん見つかりました。以下紹介いたします。

○フォームで前時の振り返り

あいさつが終わり、授業が始まると生徒はまず端末に映し出された単語の確認テストに取り組みます。

フォームで作成された問題が配付されたものです。1~2 分で回答が終了する



と生徒は自分の結果を確認します。

先生から「本時のテストはあくまでも振り返りがメインですが、英語科の 4 人で単元終了後に共通の問題を作ることもあり、結果を成績にも加味することもあります。採点を自動で行い、誤答分析も簡単に行うことができます。今日の問題であれば慣れてくれば 10 分程

度で作成は可能です。」との事でした。

○本時の課題を動画で確認

中学校の英語の授業では先生と生徒のやりとりも英語で行います。ワークシートを配布後、先生が英語で本日の課題を提示しました。マスクをしているせいもあり、少し聞き取りにくく

「???' という表情を示す生徒も何人かいます。そんな様子を感じ取りながら、課題に



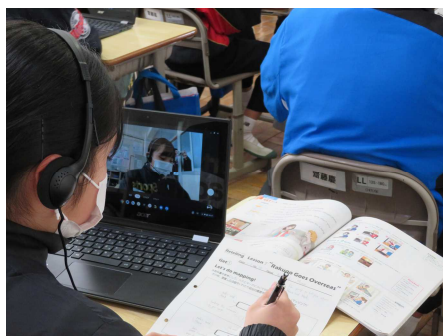
ついて動画で確認して欲しいとの指示がありました。映し出された ALT が、ワークシートを手にもつて本時の課題と作業について説明します。ワークシートも見やすく、ALT の英語も聞き取りやすかったため、本時の最初の課題が何なのかがよくわかりました。教科書から登場人物が、「何をしたのか。」「どんな気持ちだったのか。」等を読みとり、さらには登場人物の気持ちを自分なりに想像し、英語で記入することでした。

○録画機能を利用して

ワークシートへの記入が済むと周りの生徒に自分が書いた内容を英語で伝え、周りの生徒が書き留めた内容を英語で追記します。照れもあり、声も小さく「ボンボン」「モゴモゴ」といった聞き取りにくい、中学校の英語の授業でよく見かける光景です。2~3 分そのような状態が続いた後、新たな課題が示されました。「相手にわかりやすく伝える」ための録画作業で

す。

各自がワークシートに記入した文章（内容を英語でわかりやすく伝える



ために動画を作成しようということです。授業開始時から気になっていたヘッドセットをつけて生徒は各々作業に取り組み出しました。最初は戸惑う生徒もいましたが、数分後には、全員が端末に向かいスピーキングを開始しました。ペア学習での照れた様子もなく、先ほどよりも大きな声でスピーキングをしています。ヘッドセットをすることで、周りの声が聞こえず、自分の声も周囲に伝わらないことが理由だと思いました。ワークシートを画面に向け広げながらスピーキングする生徒がいれば、ALT の動画を見直す生徒がいたりと作業の仕方がそれぞれ違います。全員が作業に夢中になっています。生徒主体の深い学びを感じました。

○最後はディクテーション

授業も終盤となり、先生から録画したスピーキングの中から一番よくできたものを提出するようにとの指示がありました。と同時に複数の

生徒が、画面を見ながらキーボードを打ち出しました。自分のスピーキングを聞きなが



ら、内容をタイピングしていました。ディクテーションというそうです。中にはブラインドタッチでかなりの速さでタイピングできる生徒もいて、スキルの高さを感じました。先生からは「生徒は、日常的に端末を活用していて、タイピングにもかなり慣れてきています。」との話

を聞きました。

○今後に向けて

授業後、先生に授業の中での 1 人 1 台端末を含む ICT 活用についてお聞きしました。

「日頃から、『端末等を使うための授業』にはしないようにしています。授業の中で、『こんなことできたらいいな』とこれまで思ってきたことが、端末を使うと大抵できるようになったと思っています。授業では、省力化も含めてどう効果的に使うかということを考えています。あわせて、生徒に日常的に端末を活用させることが大切かなと思っています。朝の会や帰りの会でも端末を活用させています。」とのことでした。

今回参観させていただいた授業から「英語を聞き取ること」「思いを英語で伝えること」「聞き取った英語を書き取ること」といった使える英語を生徒たちは学んでいるなど感じました。自分の中学校時代を振り返りうらやましさも感じました。そして、端末を有効に活用することで、今後様々な教科で授業が大きく変わり、学力が向上することを予感しました。

そのためにも目的を持った端末の活用と授業以外の場面で児童生徒に積極的に端末に触れさせ児童生徒のスキルを高めることが重要であると改めて感じました。

(文責 教育センター所長)

城東中学校で活用していた「ヘッドセット」は様々な授業で活用できると思いました。全国学テで中学校に配布され、中学校には一クラス分は配備されていますが、コロナ禍で、個人所有も考えられるかなと思いました。ちなみにテレワークが盛んになったことから低価格で販売されているようです。写真のヘッドセットは 100 円均一で 220 円で購入したものです。

